

エビデンス研修会

エビデンスになじみがない方々のための考え方・使い方・作り方

エビデンスという言葉をよく聞くようになりましたが、馴染みのない方もまだまだ多いのが現状ではないかと思えます。EBM（Evidence-Based Medicine; 根拠に基づく医療）とは、「どの治療法が、どんな人に対して、どれくらい効果があるのか」を確かめながら、それぞれの方に最適な医療を提供することを目的とした行動様式のことです。本研修では、エビデンスについて3つの講座を開催し、考え方・使い方・作り方を丁寧に紹介いたします。

講座A 中学生でもわかる「エビデンスってなあに」

坂田昌嗣（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
健康増進・行動学分野 助教／京都CBTセンター）

講座B エビデンスにアクセスして最適な方針を見出そう

小川雄右（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
健康解析学講座医療疫学 准教授／琵琶湖病院）

講座C ミニマムに自分のアウトカムを出してみよう

西川公平（医学博士／CBTセンター 所長／一般社団法人CBT研究所 代表理事
／滋賀医科大学精神医学講座 客員講師）

【開催時期】

2022年 8月上旬 動画配信開始！
2022年10月上旬 Q&Aライブを開催！

料金 個人申込：1講座 ¥10,000 2講座 ¥18,000 3講座 ¥24,000

団体申込：3講座 ¥60,000（職場や勉強会など、最大5名）

3人以上でお得！
5人揃えば
12,000円/1人で
全講座受講可能！

割引 子育て割（個人申込のみ、50%OFF）

対象 医療・保健福祉・産業・教育・司法の有職専門家
および上記の教育課程にいる大学院生（要指導教員の推薦状）

URL <https://cbtcenter.jp/cms/?itemid=2851>

問合せ 一般社団法人CBT研究所 事務局 labo@cbtcenter.jp

※臨床心理士の資格更新ポイントを申請予定：参加証の発行については裏面の注意事項をご確認ください。



講座概要・講師紹介

講座A 中学生でもわかる「エビデンスってなあに」

坂田昌嗣（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
健康増進・行動学分野 助教／京都CBTセンター）



エビデンスとは、研究結果から導かれた科学的な裏付けのことです。ある介入にエビデンスがあるということは、どういったことを意味するのか、中学生でもわかるように説明していきます。エビデンスという言葉は、しばしば誇大広告の道具としても用いられます。そのため本講座では、「言えることの限界」と「最低限言ってもいいこと」について、具体例を示すことで、エビデンスの考え方をお伝えします。様々なエビデンスについて、批判的な目をもって考えられるようになりましょう。

講座B エビデンスにアクセスしてベストな方針を見出そう

小川雄右（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
健康解析学講座医療疫学 准教授／琵琶湖病院）



エビデンスに基づく医療の考え方は、時代とともに医師以外のコメディカルにも浸透してきています。本講座では幅広い職種の方がエビデンスを扱えるように、インターネットを活用した体験的ワークを用意しています。例えば「思春期の強迫症には薬物療法と心理療法のどちらから試すべきか？」などの疑問があるとき、ワークで学んだことを活かすことで、知りたい情報にアクセスしやすくなります。情報化社会の恩恵を十分使って、目の前の患者さんによりよい支援が提供できるようお手伝いしていきます。

講座C ミニмумに自分のアウトカムを出してみよう

西川公平（医学博士／CBTセンター所長／一般社団法人CBT研究所 代表理事
／滋賀医科大学精神医学講座 客員講師）



エビデンスの多くは海の向こうの誰かが、キチンと整った体制で行った結果であって、目の前のクライアントさんに対する臨床的な結果とは、似て非なるものです。もし、今年の自分の臨床成績を占えるものがあるとするれば、それは去年の自分の臨床成績なのです。本講座では「自分の臨床成績を数値にまとめる」方法について、実体験に基づいて解説します。まずは分類と四則演算で作れるものを目指していきます。統計を用いることによって、最終的に「何ができるのか」が判るようにお伝えしていきます。

各講座のタイムスケジュール

講義	2時間30分
ワーク（問題と回答）	30分
各講師 対談	1時間30分
Q&Aライブ（10月を予定）	30分

臨床心理士ポイントについて

1. 参加証明書発行は講義及びQ&Aライブの視聴及びアンケートへの回答が条件です。
2. ポイント申請の内容
講義+Q&A (LIVE)：リアル対面方式での研修参加証明書（2ポイント）
講義+Q&A (録画)：非対面方式でのオンライン研修参加証明書（1ポイント）
3. 申請区分は「第2条 第4項」です。
4. ポイント詳細に関しては『日本臨床心理士資格認定協会』に直接お問い合わせ下さい。